



3つの花を咲かせよう。

横代小だより

北九州市立横代小学校
校長 原 譲治

<教育目標> あかるく 正しく たくましく 未来にはばたけ

よこしろ防災チャレンジ



6月3日（土）に、『よこしろ防災チャレンジ』が行われました。

今年で9回目を迎える『よこしろ防災チャレンジ』は、横代校区まちづくり協議会が中心になって計画・運営を行い、横代小学校や横代中学校及び各PTA、地域諸団体や大学、警察、消防、区役所など多くの協力団体が参加して、地域ぐるみで行われている防災教育、防災訓練です。

『よこしろ防災チャレンジ』は、7時50分に学校から配信されたメールでスタートしました。子どもたちは登校時の災害発生を想定して、「学校への避難」を訓練の目的として登校してきました。その後は、学年ごとに防災学習に取り組みました。

1・2年生は、『ぼうさいアイテムゲットだぜ!』。まず、防災〇×クイズをした後、中学3年のお兄さん、お姉さんに教えてもらいながら、新聞紙のスリッパやビニール袋のポンチョを作りました。3年生は、『温故知新』。年長者の方から、横代地区での災害の体験談を聞きました。また、小倉南消防署の方には、AEDの使い方や雑誌を使った固定法、簡易担架を使った搬送の仕方、ロープを使ったいろいろな結び方を学びました。4年生は、『めざせテントマスター』。中学3年生と一緒にテント設営について学び、実際に、運動場でテントの設営を行いました。5年生は、二つのグループに分かれて行いました。一つは『ブラヨコシロ』。中学1年生と一緒に、横代地区の避難場所や危険な場所を巡るスタンプラリーに挑戦しました。もう一つは『リアルHUG』。中学校の体育館で中学1年生と一緒に、災害時の避難所を想定して、避難者受け入れのシミュレーションを行いました。6年生は、『Bousai 運動会』。中学2年生と一緒に、避難する際に防災リュックに入れて持ち出すものを考えたり、バケツリレー競争を行ったりしました。

保護者の皆様も、東日本大震災の「釜石の奇跡」をご存知かと思います。日頃から行っていた防災学習や防災訓練が子どもたちの危機意識や判断力などを育て、上級生が下級生を、中学生が小学生を導きながら全員が無事に避難をしました。『よこしろ防災チャレンジ』は、この「釜石の奇跡」につながる取組だと考えます。小学校と中学校、地域がともに学び、活動することでつながりを深め、防災意識を高めることで、いざという時に助け合い、自分の身を守ることでできる地域に発展していくと思います。その中で、横代小の子どもたちが、防災リーダーとして育ってくれればと願っています。

最後に、このような学びの機会をつくってくださった、まちづくり協議会をはじめ地域の皆様、関係諸団体の皆様、本当にありがとうございました。

ぼうさいアイテムゲットだぜ!



温故知新



Bousai 運動会



めざせテントマスター!



- ① 笑顔を絶やさずに挨拶をしっかりとしたり、掃除を頑張ったりすることで、「心の花」を咲かせること。
- ② きまりを学び、友達のよさを学び、「学びの花」を咲かせること。
- ③ しっかり遊び、体を鍛えて、「元気の花」を咲かせること。

この3つを大切にしながら、楽しく笑顔一杯の学校を、教職員、保護者や地域の皆様と共につくりあげていきたいと思ひます。

